

## 第22回大阪府安全なまちづくり推進会議総会【概要】

### 1 日時

令和6年6月27日（木）午前10時30分から午後0時まで

### 2 場所

大阪市中央区大手前3-1-43 ホテルプリムローズ大阪「鳳凰の間」

### 3 開会挨拶

#### ○ 吉村 洋文 大阪府知事の挨拶（要旨）

- 令和5年中の大阪府の刑法犯認知件数は約8万件で、前年より約1万1千件増加した。中でも、SNSを使った投資詐欺・ロマンス詐欺が急増し、被害額は約49億円。特殊詐欺は、認知件数が2,656件で過去最多、被害額は約36億円と前年から約4億円以上増加しており、高齢者から老後の大切な資金が、毎日約1千万円搾取されている状況。
- このような状況を踏まえ、令和6年度の活動計画では、より一層、皆様との連携や協力関係を強化し、「オール大阪」で、子ども、女性、自動車を狙った犯罪や、特殊詐欺の被害防止に重点的に取り組むこととしている。
- そして特殊詐欺について皆様に1点お伝えしたい。高齢者の大切な老後の資金をだまし取るような犯罪は絶対に許せない。より実効性がある強い対策を取る必要があり、条例改正に踏み込みたい。内容としては、
  - ・ 高齢者がATMを操作する際は携帯電話の使用（通話）を禁止する。
  - ・ 金融機関に対しては、不自然な入出金を確認した場合には警察への通報を義務化する。
  - ・ コンビニエンスストア等に対しては、プリペイドカード購入時の利用目的等の確認を義務化する。など、より踏み込んだ対策を条例に規定できないか、検討を進めていく。
- 最後に、大阪・関西万博の開催までいよいよ300日を切った。来訪される多くの方々に、安心して楽しんでいただけるよう、「安全なまち大阪」の実現に向け、皆様とともに歩んでいきたいと思う。

### 4 決議事項（議題説明：大阪府警察本部生活安全部府民安全対策課長）

#### (1) 令和6年度活動計画等

##### ○ 目標・取組重点・活動の基本方針

###### <目標>

府民が安心して暮らせる「安全なまち大阪」の確立

###### <取組重点>

- 子供や女性を狙った犯罪の被害防止
- 特殊詐欺の被害防止
- 自動車を狙った犯罪の被害防止

###### <活動の基本方針>

府民が安心して暮らせる「安全なまち大阪」を確立するためには府民の自主防犯意識の高揚や自主防犯行動の促進が必要不可欠であることから、より一層、構成員間の連携や協力関係を強化した上で、次の基本方針に則った活動を推進する。

##### ● 子どもや女性の安全を守るための諸対策の推進

犯罪被害防止に向けた広報啓発活動、防犯器具の普及促進等に取り組むとともに、地域住民等による持続可能な防犯ボランティア活動の活性化や日常



生活を通じた「ながら見守り活動」の普及を図る。また、次代を担う少年の健全育成を図るため、学校・教育委員会・自治体・地域住民による社会を挙げた取組により、健全育成を阻害する有害環境の浄化を図る。

● 特殊詐欺被害防止に向けた対策の推進

防犯機能付電話機等の普及促進、高齢者等への広報啓発活動、「ATMでの携帯電話の通話は、しない、させない」ことを社会に定着させることを目的とした「ストップ！ATMでの携帯電話」運動等をさらに推進するとともに、若い世代に対する犯行への加担防止に係る広報啓発活動を推進し、特殊詐欺の被害防止を図る。

● 犯罪の起きにくい防犯環境整備の促進

公共空間、特に通学路、公園、駐車場等の安全を確保するため、防犯カメラの設置拡充を推進するなど、犯罪の起きにくい防犯環境の整備を促進し、その取組を周知することにより安心感の醸成を図る。

(2) 第9回特殊詐欺対策検討部会結果報告

令和6年2月22日に開催された検討部会では、構成団体の皆様と実施可能な被害防止対策を検討し、その結果を今年度の活動計画に反映した。

総会では、大阪府警察の施策の一部として

- ・トリックアートを活用した錯視シートによる広報啓発活動
- ・セレッソ大阪の選手を起用した闇バイト防止啓発動画を

紹介した。



(3) 大阪府安全なまちづくり大使の活動状況及び再委嘱

○ 平成29年度の総会で西川ファミリーの皆様を「大阪府安全なまちづくり大使」に委嘱して以降、大使の皆様には多忙なスケジュールを割いていただき、防犯キャンペーンへの参加や広報啓発動画へのご出演などに取り組んでいただいている。

○ 令和5年度は「ららぽーと EXPOCITY」の特殊詐欺防犯キャンペーンに参加いただいたほか、住吉警察署の一日警察署長を務めていただき、住吉大社において犯罪被害防止キャンペーンに参加していただいた。

この他にも、大阪府警察本部で開催した「オール大阪特殊詐欺撲滅対策会議」では、セレッソ大阪の森島社長と共に「ATMで携帯電話を使っている高齢者への声掛け要領」に関する寸劇に出演していただいた。

○ 大使の皆様には今年度も引き続き「大阪府安全なまちづくり大使」として府民の方々への自主防犯意識の醸成を図っていただきたいと考え、再委嘱に

ついて審議した結果、満場一致で承諾を得た。



## 5 報告発表

### (1) 大阪府危機管理室治安対策課の報告発表（要旨）

#### ○ 特殊詐欺対策機器購入補助事業

- 大阪府では、特殊詐欺対策機器を購入して高齢者に機器を貸し出す市町村に対し、機器購入費用の2分の1、1台あたり4千円を上限として補助を行っており、この事業は平成29年度から行っている。（65歳以上の高齢者のいる世帯数の設置率1%を目標数値として設置促進を図る。）
- 対策機器は、自動通話録音機、自動着信拒否機、防犯機能付き電話機の3種類あり、自動通話録音機と自動着信拒否機は既存の電話機に取り付ける機器で、防犯機能付き電話機は自動通話録音機及び自動着信拒否機の両方の機能を有する電話機。
- 特殊詐欺の多くは自宅の固定電話に電話がかかってくることから始まるため、固定電話対策を行うことが非常に重要であり、引き続き特殊詐欺対策機器の普及を進めていく。

#### ○ YouTube 広告事業

**①自動通話録音機**  
相手に電話内容を録音する旨を告げて警告し、通話を録音します。

録音されたら証拠残る…

犯罪防止のため、通話が録音されます。

**②自動着信拒否機**  
警察等から提供された迷惑電話番号からの着信を自動で拒否します。

いつかけても誰も出ない…

<自動着信拒否機> 着信は鳴りません

**③防犯機能付き電話機**  
左記①及び②両方の機能を有する電話機

- 大阪府内に住む65歳以上の高齢者に対して、YouTubeで特殊詐欺被害防止に関する動画広告を配信する。
- 大阪府内の高齢者は約238万人おり、そのうちYouTubeを利用しているとされる約96万人に対してダイレクトな広報を行う。

- さまざまな理由で防犯のイベントに参加できない方や、防犯情報に関心が低い高齢者にも広報啓発することが可能で、YouTube 動画を見ているときにスキップできない 15 秒の動画を CM として流す。
- 動画の制作には放送芸術学院専門学校にご協力いただいたほか、撮影協力として劇団大阪シニア演劇大学にもご協力いただいた。
- 制作された動画は、令和 6 年 4 月 18 日に審査会を行い、8 つの動画の中から最優秀品（YouTube 配信動画）を決定した。
- 広告は短期間に最低 3 回以上接触することが効果的なため、今年の 5 月 29 日から 7 月 31 日までの約 2 か月間に、YouTube を利用する高齢者に対して 3 回の閲覧を想定して配信する。

（動画を制作した学生の代表者より）

- 特殊詐欺の被害が毎日約 1,000 万円あるということに驚き、自分のおじいちゃん、おばあちゃんに例えて、もしコツコツ貯めている老後のお金をだましとられたかもしれないと思うと許せない。
- 15 秒という限られた時間の中で、詐欺被害防止の呼びかけを音頭に乘せて表現しようと思った。
- 動画を見たおじいちゃん、おばあちゃんが一人でも多く詐欺に騙されないことを願っており、また、この動画をきっかけに皆さんが声を掛け合って、少しでも詐欺被害が減ればと思う。



## (2) 大阪学生ボランティアネットワーク「みっくす」の活動報告（要旨）

- 「みっくす」は、平成 22 年に警察庁モデル事業として認定された、大阪府内の大学生による防犯ボランティア団体。
- 令和 5 年度は、大阪府警察と共同で防犯啓発活動、ランニングパトロール及び SNS を活用した広報活動等を行った。
- 令和 6 年度は、令和 5 年度の活動内容に加えて、新たに
  - ・「割れ窓理論」に基づく清掃活動への参加
  - ・ランニングパトロールにより危険な箇所を把握し、防犯マップを作成する
  - ・警察や地域のボランティア団体との合同子ども見守り活動
 等を行うこととしている。
- この他、被災地支援活動や「みっくす」単独での子ども見守り活動及び防犯教室を実施していきたいと考えている。
- 「みっくす」はこれから柔軟な発想力とチャレンジ精神を持って啓発活動を行い、府民の防犯意識を高め、「安全なまち大阪」の確立を目指していきたい。



- (3) SNS型投資・ロマンス詐欺に対する吉村知事のメッセージ動画（大阪府の発表）
- 現在急増中の詐欺の手口について、被害に遭わないポイントを吉村知事のメッセージ動画により広報啓発する。
  - 動画については大阪府のホームページ、大阪府広報担当副知事もずやん及び大阪府治安対策課のX、YouTubeの「大阪府警察安まち公式チャンネル」に投稿している。



(4) 感謝状の贈呈

動画制作により特殊詐欺被害防止啓発に貢献した放送芸術学院専門学校と、若者の防犯ボランティアの活性化に寄与した大阪学生ボランティアネットワーク「みっくす」に対して、会長（吉村知事）から感謝状の贈呈を行った。



## 6 大阪府安全なまちづくり大使への感謝状贈呈及び再委嘱式

### ○ 感謝状の贈呈と委嘱状の交付

「大阪府安全なまちづくり大使」を務める「西川ファミリー」（西川きよし氏、ヘレン氏、忠志氏、かの子氏）の功績を称え、会長（吉村知事）から西川きよし氏に感謝状を贈呈した。

その後、会長から西川ファミリーの皆様にも今年度の委嘱状を交付した。

### ○ 会長（吉村知事）から大使への激励（要旨）

- 西川きよしさん、ヘレンさん、忠志さん、かの子さん、今年も「大阪府安全なまちづくり大使」にご就任いただきありがとうございます。
- 西川ファミリーの皆さんには、平成 29 年度に大使に就任していただいて以降、数々の防犯イベントにご参加していただき、犯罪被害防止に貢献していただきました。
- 昨年度は一日警察署長として犯罪被害防止イベントの参加や特殊詐欺などにかかる防犯イベントなどに参加していただきまして、感謝申し上げます。
- 特殊詐欺をはじめ、SNS を使った投資詐欺やロマンス詐欺など、増加している犯罪被害を減少させるため、府民に長く愛され、抜群の情報発信力がある皆さんには、今年度も引き続き、「大阪府安全なまちづくり大使」として、お力添えをお願いします。

### ○ 大阪府安全なまちづくり大使による決意表明（要旨）

- 今年も私たち家族が大阪府安全なまちづくり大使として任命されました。
- 目標は「府民が安心して暮らせる安全なまち大阪の確立」です。
- 学生の皆様からも発表がありました。本当に若い子達の力は頼もしく、私達も負けずに頑張ります。
- 特殊詐欺だけでなく新たな手口もありますが、府民の皆様が被害にあわないように、一生懸命活動していきます。
- 小さなことからコツコツと頑張ります。
- 皆さん「オール大阪」で安全なまち大阪を目指して頑張らしましょう。



## 7 総括

### ○ 向山 喜浩 大阪府警察本部長による総括（要旨）

- 御出席の皆様方には、平素から私どもに多大な御支援と御協力をいただいておりますところ、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。
- 本年度の会議では昨年度に引き続き、「子供や女性を狙った犯罪」、「特殊

詐欺」、「自動車を狙った犯罪の被害防止」を取組重点とすることを決定し、また、メンバー間の連携・協力を更に強化して、オール大阪での取組を進めることを確認した。

- 報告発表をいただいた「特殊詐欺対策機器購入補助事業」、「放送芸術学院専門学校の方が制作された YouTube 動画」、「大阪学生ボランティアネットワーク『みっくす』の方々の活動」、吉村知事のメッセージ動画、「大阪府安全なまちづくり大使」西川ファミリーの方々の活動のいずれも、特殊詐欺の被害を防ぐために大変効果的で、心に響く、素晴らしい内容・取組だと思う。
- 大阪府内の特殊詐欺の被害は、昨年1年間で2,656件、36億6,140万円。毎日毎日約1,000万円の被害が発生している計算になり、また、特殊詐欺のほかに、SNS型投資詐欺、ロマンス詐欺の被害も1年間で419件、被害額は49億219万円の被害と深刻で、特殊詐欺と合わせると、大阪府内で毎日2,300万円余りがだまし取られている計算になる。
- 大阪府警察でも、被害金の出し子・受け子といった実行犯の検挙や、還付金詐欺の被害防止を目的としたATMコーナーでの警戒、実行犯の背後にいる首謀者グループの実態解明を進めるなど、検挙、抑止の両輪で対応しているが、詐欺の手口もかなりスピーディに変化している。
- 先日、政府の犯罪対策閣僚会議で「国民を詐欺から守るための総合対策」が決定され、国レベルでの取組も強化されているところであり、自治体、事業者、警察等が緊密に連携をし、それぞれができる抑止対策を確実に実施し、そして府民の皆さん一人一人がしっかりと注意を払っていくことなど、そのような社会全体での取組が今までにもまして重要になっている。
- 会議の冒頭、吉村知事から「大阪府安全なまちづくり条例の改正」も含めて、オール大阪でのより一層踏み込んだ対策について検討する必要がある旨のお話があり、大阪府警としても、大変タイムリーな問題提起、御提案をいただいたと受け止めており、大阪府の関係部局を始め、関係者の皆様とともに、しっかりと検討を進めていきたい。

